

令和4年度 日常生活自立支援事業

# 専門員実践力強化研修会Ⅱ

## 開催要項

主催：全国社会福祉協議会

### 1. 趣旨

日常生活自立支援事業の専門員は、利用者の意思決定支援を基本に、利用者の権利擁護を図り地域での自立した生活を支援していく役割が求められています。また、近年、地域のニーズはますます複雑化・複合化し、地域社会や福祉・生活関連の制度が変化し続ける中で、さまざまなケースへの対応を求められており、ソーシャルワーカーとしての専門性をさらに高めていく必要があります。

そこで、次のことを目的に本研修会を開催いたします。

- ①多様化・複合化する課題への対応や利用者に必要な支援を行うために必要な連携のあり方について学ぶ。
- ②事例検討の視点や手法を学ぶことにより、相談援助職として自らの実践をふりかえり、その後の援助内容に生かしていく自己検証能力を強化する。

### 2. 日時

集合とオンライン併用 ※2日間の研修です	令和5年2月9日（木）10時00分～2月10日（金）16時10分
-------------------------	----------------------------------

### 3. 参加対象

- (1)日常生活自立支援事業における業務経験が満2年以上の専門員  
(上記開催日時点で専門員として経験年数が3年目に入っている方)
- (2)都道府県・指定都市社協の日常生活自立支援事業の担当職員

### 4. 会場・開催方法

○会場参加者：全国社会福祉協議会 灘尾ホール（新霞が関ビル）

○Web参加者：Web会議システム「zoom」によるライブ配信

ライブ配信（zoom 使用）	「zoomミーティング」を利用してリアルタイムで参加する形式です。zoomミーティングのURL、ID・パスワードはEメールにて、参加登録いただいたアドレスにお送りさせていただきます。
----------------	---

## 5. 定 員

会場参加	定員 80 名 (先着順)
ライブ配信 (zoom 使用)	定員 150 名 (先着順)

\*定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

\*申込多数の場合、基幹的社協の専門員の参加を優先させていただく場合がございます。

\*会場参加者を対象に、研修会終了後に交流会を開催します。申込時に出欠の選択をお願いいたします。

## 6. 参 加 費

5,000 円 (1 人あたり)

## 7. 事前課題について

○本研修会の事例検討会は、参加者から提供された事例をもとに研修をすすめていきます。自らの日頃の支援を振り返り、事前に事例概要としてまとめ、提出していただきます。

別紙の事例概要提出シートへ記入のうえ、申込フォームからの申込時に添付してください。

○提出いただいた事例概要から 2 事例程度を選定し、その事例をもとに事例検討を行いますので、予めご承知おきください。

○選定した事例提供者には、事例情報を加えた事例シートを作成いただきます。

※該当者には、別途、ご連絡させていただきます。

## 8. 資料について

○使用する資料については、冊子にしたものをお1週間前までに参加者宛に郵送いたします。

○取り扱い事例については、個人情報保護の観点から、別途取り扱いに係る説明とあわせてメールで送信いたします。

## 9. 申込方法

下記申込フォームからお申込みください。

申込フォーム	URL : <a href="https://www.mwt-mice.com/events/senmon2-2022/login">https://www.mwt-mice.com/events/senmon2-2022/login</a> ※申込フォームは 11 月 28 日 (月) からオープンいたします。 <b>※申込期限：令和 4 年 12 月 22 日 (木)</b>
--------	---

※ 申込時に事例概要シートもあわせて提出(申込専用サイト内でアップロード)してください。

※ 登録時に申込確認メールが送信されます。メールアドレスの入力間違いが無いようご確認ください。確認メールが届かない場合は、名鉄観光サービス(株) MICE センターまでお問い合わせください。

※ ライブ配信の 10 日前を目安に zoom ミーティングの URL、ミーティング ID、パスコードをメールで送信します。

## 10. プログラム

日程：【1日目】2月9日（木）

時 間	プロ グ ラ ム
9：40～10：00 (20分)	Zoom ミーティングへ入室開始
10：00～10：10 (10分)	<b>【全体】オリエンテーション</b> 事務局
10：10～10：40 (30分)	<b>【行政説明】「成年後見制度利用促進の動向と日常生活自立支援事業への期待」</b> 厚生労働省 社会・援護局地域福祉課 成年後見制度利用促進室
10：40～11：10 (30分)	<b>【基調説明】「日常生活自立支援事業を取り巻く環境」</b> 全国社会福祉協議会 地域福祉部 部長 高橋 良太
11：10～11：40 (30分)	<b>【演習】アイスブレイク</b> ※グループでの自己紹介、専門員としての活動の振り返り
11：40～12：40	昼食休憩
12：40～14：30 (研修 100分) (途中休憩 10分)	<b>【講義と演習】「個別支援における多機関・多職種連携」</b>  多機関・多職種、社協内の他部門との役割分担・調整ができるよう、連携の意義や基本的な考え方を実践の場面を学ぶ。  Optim's-pt (オプティズム プロジェクト) 代表 上原 久氏 大村市社会福祉協議会 事務局次長 山下 浩司 氏
14：30～14：40	休憩
14：40～16：50 (研修 120分) (途中休憩 10分)	<b>【実践報告と演習】「日常生活自立支援事業と成年後見制度の連携」</b>  日常生活自立支援事業から成年後見制度に移行する際に生じる課題と対応のためのポイント等について整理し、実践報告を通して、自分たちの社協ではどのような対応ができるか考えます。
	<b>実践報告者：</b> 調整中 <b>進行：</b> 日本司法支援センター（法テラス）本部 弁護士 水島 俊彦 氏
17：00～18：00	<b>交流会（会場参加者のみ）</b> 会場での名刺交換会、講師も交えた交流 ※参加希望者は申込時にご選択ください。

**日程：【2日目】2月10日（金）**

時 間	プロ グ ラ ム
9：00～9：20	zoom ミーティングへ入室開始
9：20～10：00 (40分)	<b>【講義】「事例検討の意義と進め方」</b> ルートル学院大学 教授 福島 喜代子 氏
10：00～12：15 (事例検討 120分) (途中休憩 15分)	<b>【演習】「事例検討①」(1 グループ 6名)</b> <b>事例提供者</b> ：参加者の中から 1 名 <b>進行</b> ：ルートル学院大学 教授 福島 喜代子 氏 <b>コメンテーター・事例検討補助</b> Optim's-pt (オプティズム プロジェクト) 代表 上原 久 氏 大村市社会福祉協議会 事務局次長 山下 浩司 氏 西東京市社会福祉協議会 福祉支援課 課長 関根 裕恵 氏 <b>事例検討①の流れ</b> 事例提供者からの事例発表（全体）…30分 ↓ 事例提供者への質問事項の検討（ブレークアウトルーム）…20分 ↓ 事例検討参加者からの質問・事例提供者からの情報提供（全体）…20分 ↓ 解決策の検討（ブレークアウトルーム）…25分 ↓ 検討結果の共有、事例提供者・講師からコメント（全体）…25分
12：15～13：15	昼食休憩
13：15～15：30 (事例検討 120分) (途中休憩 15分)	<b>【演習】「事例検討②」(1 グループ 6名)</b> ※流れは①に準じる <b>事例提供者</b> ：参加者の中から 1 名 <b>進行</b> ：ルートル学院大学 教授 福島 喜代子 氏 <b>コメンテーター・事例検討補助</b> Optim's-pt (オプティズム プロジェクト) 代表 上原 久 氏 大村市社会福祉協議会 事務局次長 山下 浩司 氏 西東京市社会福祉協議会 福祉支援課 課長 関根 裕恵 氏
15：30～15：50 (20分)	<b>【演習】「振り返りとまとめ」</b> ※グループで、2 日間の研修について振り返る。グループ内での情報交換。
15：50～16：10 (20分)	<b>【講義】「総括」</b> 研修全体の振り返りをふまえ、相談援助職としての技量の向上の観点から、事例検討の意義や多職種との連携の重要性、留意点等について総括します。 ルートル学院大学 教授 福島 喜代子 氏

### ◆◆◆ライブ配信での演習 参加にあたっての注意事項◆◆◆

- オンラインでの事例検討は運営の都合上、可能な限り原則参加者1名につき1台のPCで参加していただきますようお願いいたします。
- 受講される際には参加者の映像や音声が表示されるよう、必ずカメラ・マイク内蔵のPCやタブレット、外付けのカメラやマイクを接続したPC等をご用意ください。
- zoomミーティングに参加する場合は周囲の音声をマイクが拾いますので、事前に静かな場所を確保してください。もしくはヘッドホン、マイクの使用を推奨します。  
とくに同じ場所で複数の参加者（複数の端末）がいる場合はハウリングを起こしますので、ヘッドセットをご利用ください。
- zoomミーティングへの参加が初めての方は、以下URLから接続テストを行ってください。  
〔zoomテスト〕<https://zoom.us/test>
- zoomの操作方法は、zoomヘルプセンターでご確認ください。  
〔zoomヘルプセンター〕<https://support.zoom.us/hc/ja>
- 運営者の都合による接続トラブルの発生を除き、接続トラブルによる参加費のご返金はいたしかねますので事前に接続機器や回線等の状況をよくご確認いただいたうえでご参加いただきますようお願いいたします。

### 11. 昼食・宿泊 \*会場参加者のみ

各自でご手配をお願いいたします。

※参考として、申込サイトに会場周辺のホテル情報を載せております。

### 12. 交流会 \*会場参加者のみ

無料 \*希望者のみ

希望者は申込時に申込サイトにてご選択ください。

なお、感染拡大状況によって、中止とさせていただくことがあります。

あらかじめご承知おきください。

### 13. スケジュール（予定）

- |                |  |
|----------------|--|
| 11月28日(月)      | 全社協【本研修用の申込フォームオープン】<br>参加者【本研修用の申込フォームより参加登録】 |
| ～12月22日(木)     | 参加者⇒名鉄観光サービス株式会社【ライブ配信参加費振込み】                  |
| 1月30日(月)       | 全社協⇒参加者【zoomURLメール送付、資料郵送】                     |
| 2月9日(木)・10日(金) | <b>研修当日</b>                                    |

### 14. 留意事項

本研修につきましては、特別な許可を得ない限り、録画・録音、写真撮影などを行わないようにしてください。

## 15. その他

- 申込フォームに記載された個人情報は、運営管理のためにのみ利用させていただきます。
- 手話通訳等、参加時に配慮が必要な場合は、申込フォームの記入欄にてお知らせください。

## 16. 会場のご案内

全国社会福祉協議会 瀬尾ホール

(〒100-8980 東京都千代田区霞ヶ関 3-3-2 新霞ヶ関ビル)



※最寄駅：地下鉄銀座線「虎ノ門」駅、千代田線/丸の内線/日比谷線「霞ヶ関」駅

※アクセスは web サイト（<https://www.shakyo.or.jp/tsuite/access/index.html>）でご確認ください。

### 【お問い合わせ先】

(参加申込み・キャンセルについて)

名鉄観光サービス株式会社 MICE センター (担当：下枝、富永、田中)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞ヶ関ビル内

TEL : 03-3595-1121 FAX : 03-3595-1119

受付時間：平日 10:00～17:00・土日祝日休業

(研修について)

全国社会福祉協議会 地域福祉部 (担当：後藤、福興)

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞ヶ関ビル

TEL : 03-3581-4655 FAX : 03-3581-7858

E-mail : [c-kenri@shakyo.or.jp](mailto:c-kenri@shakyo.or.jp)

## 【F A Q】

Q1 1 社協から複数名参加することはできますか。その場合、申込フォームにはどのように入力すればよいですか。

A1 できます。申込専用サイト内では、**代表者の方が確認し、取りまとめてお申込みください。** 同サイト内で 1 名ずつのお名前などを伺います。**事前課題も必ず 1 名ずつ提出が必要です。**

Q2 申込フォームから申込送信後、参加者の変更や申込キャンセルはできますか。

A2 できます。詳細は、申込専用サイトをご覧ください。なお、申込締切後のキャンセルの場合は、資料送付をし、返金対応は致しかねますので、予めご承知おきください。

Q3 1 台のパソコンを使って複数名参加することはできますか。

A3 可能ですが、参加者 1 名ずつの申し込みは必要となります。本研修では、ブレイクアウトを複数回行いますので、主に代表者 1 名がワークを行うような参加となりますことをご了承の上お申し込みください。また、事務局へご連絡をお願いいたします。可能な限り参加者 1 名につき 1 台のパソコンでご参加ください。

Q4 研修のうち片方の日がどうしても日程が合わずに参加できません。当日の内容を録画した動画を配信する予定はありますか。

A4 現時点では、録画配信予定はございません。両日ともに参加できる方を優先させていただきます。

Q5 グループはどのように分かれますか。都道府県・指定都市社協担当者は専門員とは別のグループになりますか。

A5 都道府県・指定都市社協担当者も同じようにグループ分けを行います。グループ名簿については、研修前に参加者へ送付いたします。